

2021年度 大学教育問題全学講演会

○テーマ

学生の深い学びでどのように大学をリ・ブランディングするか
～ アフターコロナに向けた授業と大学のデザイン ～

○日時

2021年5月27日(木)16:00～17:00

○講師

桐蔭横浜大学 副学長・教授
(教育研究開発機構 機構長)

森 朋子 先生

○司会

愛知大学 名古屋教学部長
北尾 泰幸



○会場

オンラインで実施いたします
Zoomミーティング
()

○講師プロフィール

専門：学習研究，学習理論

ケルン大学哲学部Magister修了後、大阪大学大学院言語文化研究科博士前期・後期課程修了(博士(言語文化学))。

島根大学、関西大学を経て現職。文部科学省中央教育審議会臨時委員(大学分科会)等も歴任。大学教育学会理事，初年次教育学会理事。

著書として、『アクティブラーニング型授業としての反転授業【理論編】』(共編者，ナカニシヤ出版，2017年)，『アクティブラーニングの技法・授業デザイン』(共著，東信堂，2016)，『ディープ・アクティブラーニング』(共著，勁草書房，2015)などがある。

今回の講演会はオンラインにより実施します。

人がどのように学ぶのか、学びのメカニズムとプロセスを解明し、その知見を教育現場に活用する学習研究を専門とされる森先生にご講演いただきます。大学教育においてアクティブラーニングの導入が推奨されている中、その理由と効果を学習研究の見地からもう一度考察するとともに、コロナ禍でのオンライン授業の経験を通じた新たな学生の深い学びを促す新たな授業デザインについて検討を行います。そしてそれがカリキュラムとして連続性が担保されることが、大学のブランディングにもつながる可能性を、桐蔭横浜大学を事例として報告いただきます。

多数の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

○主催 愛知大学 学習・教育支援センター

○問合せ先 愛知大学 名古屋学習・教育支援センター 052-564-6150